

第49回研究評価委員会に附議された評価報告書（案）に対する委員会コメントについて

第49回研究評価委員会（平成28年12月5日開催）に諮ったプロジェクト中間評価報告書4件及び事後評価報告書2件について、委員会における討議を踏まえ、以下のコメントを附記することで確定した。

1. 次世代自動車向け高効率モーター用磁性材料技術開発（中間評価）

材料自体の研究開発目標設定とそのための研究推進方法を再度精査し、実用化に向けモーター開発及び材料評価の課題等と緊密な連携をとって進められたい。

2. 次世代構造部材創製・加工技術開発（研究開発項目①～④-1）（事後評価）

全ての研究開発項目で最終目標を達成したので、今後は国際的な標準化・規格化、他産業への波及効果および有効なシステム化も視野に入れた展開を期待したい。

3. 次世代半導体微細加工・評価基盤技術の開発（事後評価）

個別の基盤技術について所期の研究開発成果があがっている。今後は、これら成果のIoT等のシステムへの応用戦略を意識した展開を期待したい。

4. 低炭素社会を実現する次世代パワーエレクトロニクスプロジェクト（研究開発項目①(10)③）（中間評価）

知財・ノウハウを含めて、オープン・クローズ戦略を後半もきちんと進めてほしい。新しいアプリケーションを今後どうやって展開していくか、国際戦略も含めて検討を期待したい。他の関連プロジェクトとの連携についても、十分に考慮されたい。

5. 二酸化炭素原料化基幹化学品製造プロセス技術開発（中間評価）

プロジェクトは順調で評価は高いが、コスト面を考慮したシステムをどう設計するか、現段階でインキュベーション事業として使える技術はないか、最終目標である光触媒のエネルギー変換効率 10%達成について、目標値実現と産業技術としての可能性を併せてどのように妥当性を再考するかなど、様々な面で工夫が必要である。

6. 海洋エネルギー技術研究開発（中間評価）

海洋エネルギーに対する期待は大きいものの、実用化に向けてはコストを含めて重要な課題が山積しているため、これらの克服に向けて今後戦略的に研究開発に取り組んで頂きたい。